



# 校長室だより

令和6年度

2月27日

NO. 47

## どう立ち向かう？ いろいろな情報に。その情報は正しいの？



大型ディスプレイを有効に使って…



「情報」を考える。この情報は？



みんなで話し合い  
意見の共有を



情報の活用



六年生の橋村先生が、本年度の中堅教諭研修で、まどめの授業を行いました。国語科「どう立ち向かう？ もしもの世界」の題材で、子供たちには、多面的に検討して意見文を書かせることを目標とします。中でも子供たちが重点的に行ったのが、情報の真偽の検討でした。ちょうどコロナ禍の情報の錯そうを思わせるような内容で、様々な情報を適切に判断・活用することは、これからの時代に必要な能力だと言えます。

国語の授業で「情報」と言っているとピンとこないかもしれませんが、国語では、その情報を事実と考えに分けて考えることを学びます。子供たちは、「〇〇さんは全部自分の考えだけで判断している」「ネットの情報につられてる」など、主観や感情だけでなくで、事実に基づいて客観的に判断する見方を学びました。

多様化の時代になり、周りには様々な情報があふれています。学校の授業でも、iPad が頻繁に使われ、ITは生活の中に当たり前にある環境になりました。けれど人は、SNSやネットの情報はもちろん、噂話やライン情報まで多くの情報について、自分に都合のよい情報を、自分の主観で、真実と受け取ることが多々あります。正しい情報を取捨選択、検討判断、活用する力は、これからの生きる小学生には必要であることはもちろん、子供を育てる大人にも、必要な力になります。本当の情報は与えられるのではなく、自分で獲得しなければならないのかもしれないかもしれません。

「ふろこ学習」でいつも教えていただく義久さんも、炭焼きや椎茸栽培など、YouTube を見て、勉強するそうです。正しく情報を利用すれば、今や何でも学べる時代です。これは教育でも同じで、今までのことだけを正しい情報と信じて行っただけでなく、様々な情報を、今の自分たちにとって必要かどうか判断し、アップデートしていく力も、求められることでしょう。

○授業参観およびPTA委員選出に、ご参加、ご協力ありがとうございました。保護者の方のご協力で、PTA活動は成り立っています。今後のPTA活動も、ご協力いただけるときにご協力いただければいいと思います。令和7年度もよろしくお願ひします。